



幸手中学校だより

令和3年4月8日(木)発行

校 是

「全力は美なり」

学校教育目標

「学び続ける生徒」「心豊かな生徒」「活力ある生徒」

【生徒数】

1年 149名 2年 162名 3年 156名 合計 467名

成らぬ堪忍するが堪忍



校長 島方 勝弘

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。2, 3年生のみなさん、進級おめでとうございます。令和3年度が始まりました。幸手中学校では149名の新入生を迎え、全生徒数は467名でスタートします。新しい教室で、新しい仲間にもまれて気持ちも新たにしていることでしょうか。幸手中学校は、今年75年目を迎えました。本校の教育目標は、「学び続ける生徒」「心豊かな生徒」「活力ある生徒」です。諸先輩が築き上げた伝統を引き継ぎ、校是「全力は美なり」を合い言葉に、これまでに多くの教育的成果をあげてきました。

昨年度はコロナ禍の影響で学校生活の制限を余儀なくされました。今年度も、まだコロナウイルス感染症の収束にはいたっていません。1年以上の自粛生活で疲れも見え始め、我慢すること多い加減に嫌になっている状況がテレビを見ていると感じられます。日本のことわざ「堪忍のなる堪忍は誰もする。成らぬ堪忍するが堪忍」という言葉があります。誰でもできる程度の我慢は我慢のうちには入らず、誰もできないほどの我慢をしてこそ本当の我慢だという意味です。別な表現をするならば、「もうこれ以上はとて我慢できないというところを、じっとこらえて我慢するのが本当の我慢というものであるという教え」です。私は何か困難に出会うとよくこの言葉を思い出しています。早く正常な世の中にするためにも、もう少しの我慢を一緒にしていきましょう。そして家族や友達、仲間そして何よりも自分の健康を第一に考えて行動するようにしましょう。風邪症状などの体調が優れないときは安心して学校を休んでください。欠席扱いにはしませんので自身の健康と感染予防を意識して生活していきましょう。

しかしながらこんな社会情勢の中でも「学ぶこと」はとても大切です。人間は「学ぶこと」によって成長できるからです。昨年4月にも記載しましたが、このような非常時に思うことがあります。「病気になってはじめて健康のありがたみがわかる」ように、「非常時になって、これまでの日常がいかにありがたかったか」ということです。もっとできることがあったのではないかと。時間を大切に、友人を大切に、家族を本当に大切にしていたのだろうか。本気で学習に取り組み、成果を上げていたのだろうか。言い忘れていたことはないだろうか。失礼はしていなかったろうか等々普段は考えないことをいろいろ考えています。コロナウイルス感染が世界的に沈静化し、生徒の皆さん、地域、ご家族の皆様が安心して生活できる日が一日でも早くくることを祈念しております。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も幸手中学校の教育活動に対するご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。生徒の健康管理と学力保証の二本立てを意識しながら教職員一同力を合わせて進めてまいります。

令和3年度当初、教職員異動のお知らせ

【退職・転出等】			【転入】		
職名	お名前	異動先	職名	お名前	前任校等
教頭			教頭		
教諭					
教諭					
教諭					
教諭					
教諭					
業務主事					
業務主事					
学校栄養職員					
学級生活支援員					
学級生活支援員					

令和3年度教職員組織

第1学年			第3学年		

生徒の自己肯定感と幸中生としての誇りを高め、家庭・地域から信頼される学校づくりを目指し、「生徒指導、教育相談の充実と学力向上」、「潤いのある学校環境づくり」、「生徒の主体性、自主性をはぐくむ教育活動の展開」を進めていきます。今年度もよろしくお願いいたします。

令和3年度のスタートに向けて ～準備登校～

新2、3年生が登校し、入学式、始業式の準備を行いました。式場の準備や新年度に使用する教室へ机、イスの移動、そして、気持ちよく新生活をみんなが始められるようにしっかりと清掃も行いました。進んで活動しようとする生徒の様子が多くみられ、新年度へのやる気を感じられました。

新入生を迎え、令和3年度がよいよ始まります。今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止を意識しながら学校生活を進めていくことになります。「検温・健康チェック・うがい・手洗い・咳エチケット」等を確認しながら、教育活動を進めてまいります。今後ともご協力をお願いいたします。



▲正門から



▲登校の様子



▲中庭の桜



▲清掃の様子



▲式場準備の様子